

前回の御指摘に関する資料

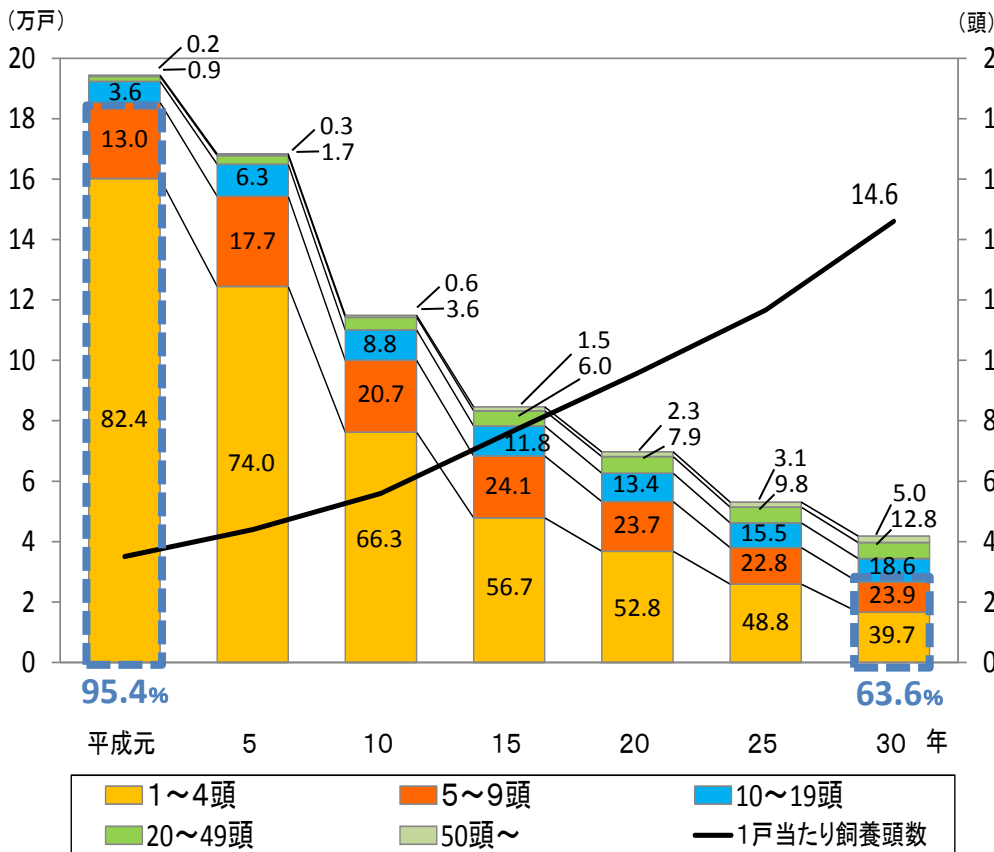
生産局畜産部食肉鶏卵課

平成 3 0 年 1 1 月

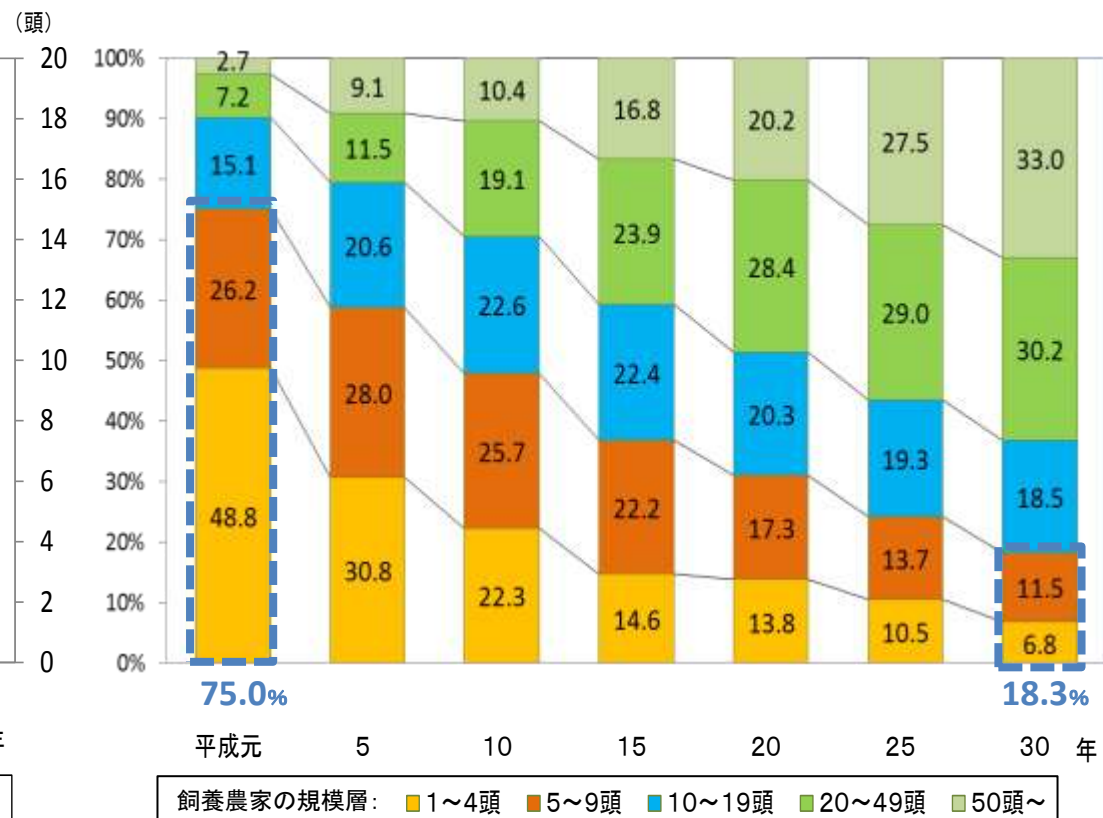
繁殖雌牛飼養規模別推移

○ 平成30年現在、**小規模層(9頭以下)**が全体に占める割合は、**飼養戸数では6割強**であるが、**飼養頭数では2割弱**に過ぎず、飼養頭数の8割強は10頭以上層が占めている状況(20頭以上層は6割強)。

○ 繁殖雌牛飼養頭数規模別戸数と1戸当たり平均飼養頭数



○ 繁殖雌牛飼養頭数のシェア

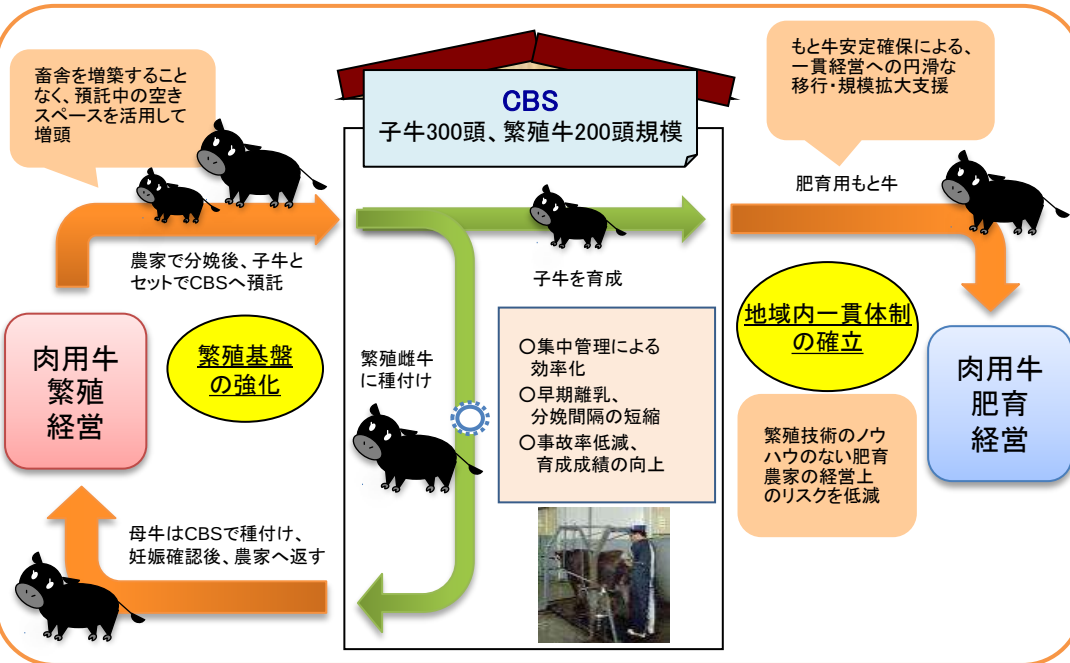


資料: 農林水産省「畜産統計」より算出

(参考)肉用牛生産基盤の強化に向けた取組

- 畜産クラスター事業により、子牛の育成部門を外部化して増頭を可能とするためのCBS(キャトルブリーディングステーション)やCS(キャトルステーション)の整備等を支援。
- 優良な繁殖雌牛の増頭や乳用牛への和牛受精卵移植技術を活用した和子牛の生産拡大等の取組を支援。

CBSを活用した生産基盤強化の事例



取組の効果

- 労働負担が軽減され、増築することなく繁殖牛の増頭が可能
- 集中管理による地域分娩回転率の向上
- 地域内一貫体制の確立
- 繁殖障害牛の有効活用

TMRセンターを活用した生産基盤強化の事例



主な生産基盤強化支援対策

畜舎を整備したい、CS・CBSを整備したい

● 畜産クラスター事業 29補正【一部基金】:665億円の内数

地域の畜産関係者が連携して策定する畜産クラスター計画に位置付けられた中心的な経営体等に対し、畜舎、CS・CBSの整備等を支援します。

補助率:1/2以内
支援対象者:中心的な経営体

● 強い農業づくり交付金 30年度【一般予算】:202億円の内数

産地の収益力強化や合理化を図る取組に必要な畜舎等の整備を支援します。

補助率:1/2以内
支援対象者:農業者の組織する団体等

簡易畜舎を整備したい

● 肉用牛経営安定対策補完事業

【ALIC事業】 30年度:35億円の内数

繁殖雌牛の増頭のための簡易牛舎整備、施設の改造に必要な資材の支給及び器具機材の導入について支援します。

補助率:1/2以内
事業実施主体:都道府県団体等

施設整備と一体で家畜を導入したい

● 畜産クラスター事業 29補正【一部基金】:665億円の内数

リース方式の施設整備を行い規模拡大する場合の家畜導入を支援します。

補助率:1/2以内(上限有)
支援対象者:中心的な経営体

ヘルパーを活用したい

● 肉用牛経営安定対策補完事業

【ALIC事業】 30年度:35億円の内数

肉用牛ヘルパー組合の組織強化や、肉用牛飼養農家の傷病時や高齢者の飼養管理作業等のヘルパー活動に対して支援します。

補助率:1/2以内
事業実施主体:生産者団体等

繁殖雌牛を増頭・導入したい

● 肉用牛経営安定対策補完事業

【ALIC事業】 30年度:35億円の内数

- ① 繁殖雌牛を増頭する場合、実績に応じて奨励金を交付します。
- ② 生産者集団が、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛を導入し、農家に貸付を行う取組に対して奨励金を交付します。

補助率:①の事業 8万円、10万円/頭、②の事業 6万円、9万円/頭
事業実施主体:都道府県団体、民間団体

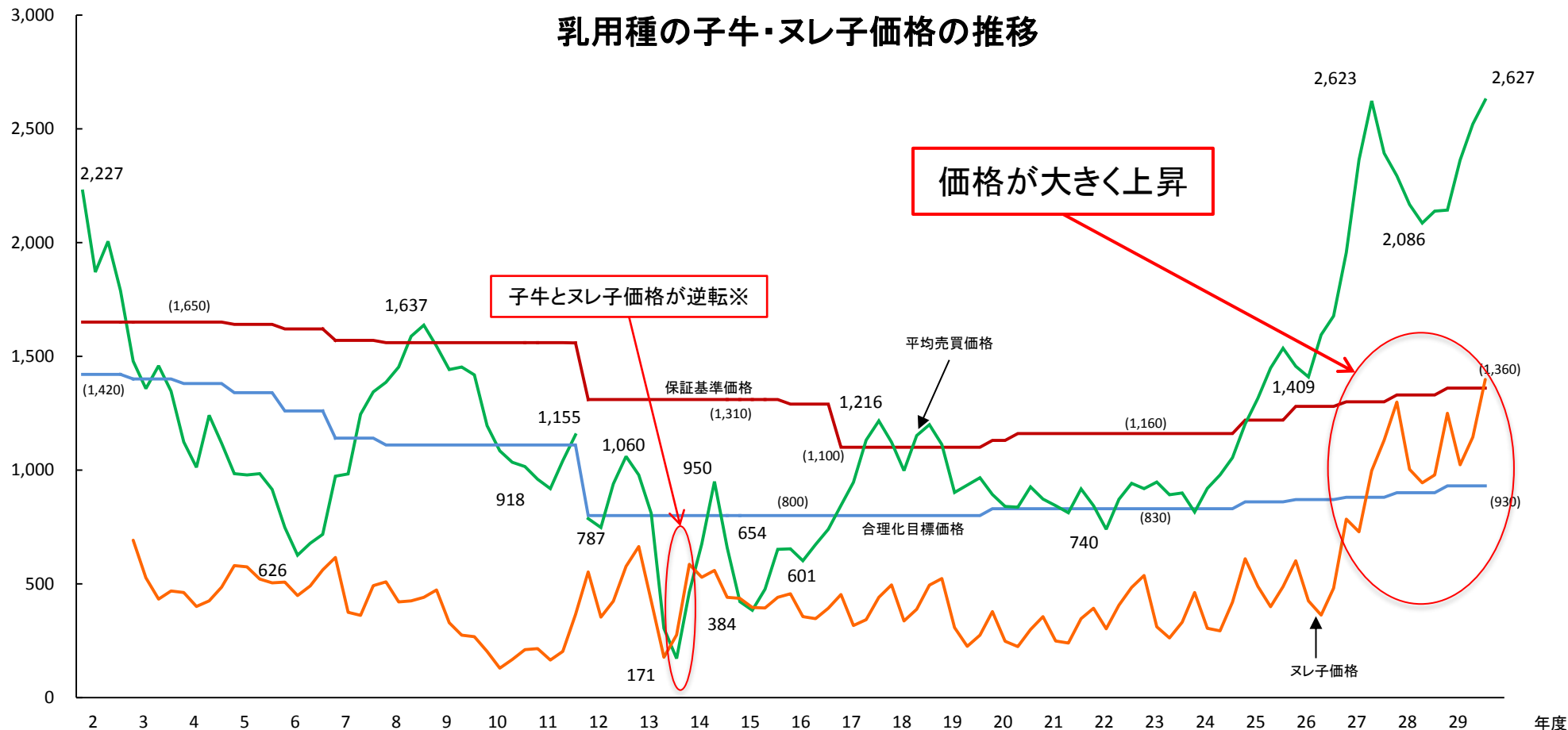
(※)スーパーL資金(償還期限25年以内、金利0.25~0.40%)、農業近代化資金(償還期限7~20年以内、金利0.40%)等により、これらの取組を金融面から支援(金利は平成30年8月20日現在)

乳用種のヌレ子価格について

○ 乳用種ヌレ子価格は、平成13年のBSE発生による急落から回復した平成14年度以降、3～4万円程度で推移してきたが、平成28年度以降は10万円超で推移しており、直近(平成29年10月～30年9月)の平均価格は13万円を超えている。

百円／頭

乳用種の子牛・ヌレ子価格の推移



注: 11年度までは、肉専用種以外の品種として、乳用種及び交雑種の平均売買価格。12年度以降については、乳用種のみ。ヌレ子価格は、月ごとの取引頭数に平均売買価格を乗じ、四半期毎の全取引頭数で割り戻して算出

資料: 平均売買価格(食肉鶏卵課調べ)、ヌレ子価格((独)農畜産業振興機構「肉用子牛取引情報」)

※ 保証基準価格が生産コストを上回る水準に設定されていた結果、素畜であるヌレ子価格が需給状況を反映しない事態となり、平成17年度から保証基準価格算定方式を見直し